

学力調査結果から今後の取り組みへ

「学校・家庭・地域の連携で

課題に取り組み

教育指導課指導係 ☎0824-73-1184



本年度実施した、全国学力・学習状況調査および
広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果が発表
されました。
市教育委員会は、これらの調査で明らかになった
課題を分析し、児童・生徒一人一人の学力向上を目
指す取り組みを進めていきます。

表 1

小学校6年生			
教 科	庄原市	広島県 (公立)	全国 (公立)
国語A	81.5	83.6	81.6
国語B	52.5	58.1	55.6
算数A	76.6	75.4	73.3
算数B	56.1	60.5	58.9
理 科	61.1	62.9	60.9

中学校3年生			
教 科	庄原市	広島県 (公立)	全国 (公立)
国語A	74.3	75.3	75.1
国語B	64.0	63.6	63.3
数学A	59.8	62.4	62.1
数学B	47.3	49.8	49.3
理 科	49.9	50.2	51.0

※Aは基礎的・基本的な内容、Bは知識・技能を活用する内容
※理科は、A、Bを含めた内容で、本年度初めて実施
※庄原市の数値は抽出調査校(小学校2校27人、中学校4校266人)の平均正答率(%)

全国学力・ 学習状況調査の結果

文部科学省が行う「全国学力・学習
状況調査」が4月17日に実施され、市
内の小学校6年生と中学校3年生が
参加しました。(表1)

広島県「基礎・基本」 定着状況調査の結果

広島県教育委員会が行う「基礎・基
本」定着状況調査が6月12日に実施
され、市内の小学校5年生と中学校2
年生が参加しました。(表2)

表 2

小学校5年生		
教 科	庄原市	広島県
国語	76.5	75.8
算数	76.3	75.0

中学校2年生		
教 科	庄原市	広島県
国語	81.8	81.0
数学	71.0	74.1
英語	62.9	74.2

※数値は平均通過率(%)

活用力が不十分

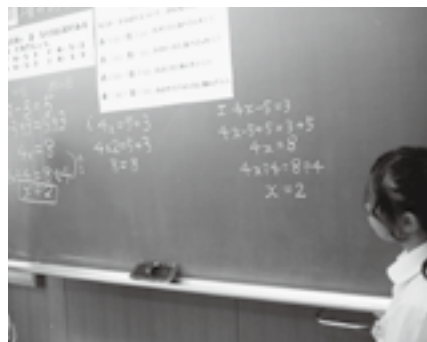
英語に大きな課題

表1のとおり、全国平均正答率に概
ね近い数値となりましたが、活用する
力を必要とするB問題の平均正答率
が、A問題に比べて低くなっています。
これは、習得した基礎的・基本的な内
容を活用して考えたり、表現したりす
ることが不十分であることを示してい
ます。

表2では、小
学校5年生は
国語、算数とも
に県平均通過
率を上回り、基



英語でのインタビュー
を考えているところ



方程式の解き方を説明しているところ

礎的・基本的な学習内容は概ね身に付
いていると考えられます。中学校2年
生では、国語は県平均通過率を上回っ
ているものの、数学、英語は県平均通過
率を下回っており、特に英語に大きな
課題があります。

組織的な課題改善に取り組む

市教育委員会はこれらの結果を受
けて、児童・生徒の学力の定着状況の
把握・分析、各学校の取り組みの交流・
協議、授業改善を目的とした庄原市
学力向上検討委員会第2回全体研修
会を9月25日に開催しました。

参加した教職員は3、4人のグルー
プに分かれ、課題改善に向けて「だれ
が」「何を」「いつまでに」「行うのか、組
織的にどう取り組んでいくのかを協議
しました。例えば、課題のあった問題
を全教職員でもう一度解き、どの学年
のどの指導に課題があるのか分析し改

善につなげる取り組みや、学習を習慣
付けるために、全学年で意識統一した
家庭連携を進めるなどといった、具
体的なアイデアが出されていました。
各学校では協議した内容をもとに、
児童・生徒一人一人の学力を向上させ
るために、組織的な課題改善に取り組
んでいます。

学習に関しては概ね定着も 自己肯定感が低い傾向

表3から、勉強の計画を立てたり、
家庭で授業を復習したりすることは
概ね定着していることが分かります。
また、地域や子ども会などに参加して
いる割合は、県平均を10ポイント以上
上回っており、「住んでいる地域が好
き」と答えた割合も県平均を上回っ
ています。子どもたちが地域の中で、多
くの人との出会いやさまざまな経験
を重ねて健やかに育っていることを表し
ています。

一方、「将来の夢や目標を持っている」
「自分の良さは周りの人から認められ
ている」といった、自分の将来や自己肯
定感(※)にかかわる内容は県平均を
下回っています。自己肯定感が低いと
自信が持てなくなり、他者の言動が気
になったり、何事に対しても無気力な
状態に陥りやすくなったりします。ま
た、テレビやゲームを1日に3時間以上
見る割合が高く、家族でコミュニケー

学校・家庭・地域の つながる連携がカギ

さつなる連携がカギ

自己肯定感を高めるためには、さま
ざまな活動場面で褒められたり、認め
られたりする経験がとても大切です。
例えば、家庭では意図的に子どもに仕
事や役割を与え、できたことをしっか
り褒めたり、失敗しても結果だけにと
らわれず、やったことやその過程で頑
張ったことを認めたりすることが、自
己肯定感の向上につながります。

いずれの課題も学校だけで改善で
きるものではありません。今後も、学
校・家庭・地域が課題を共有し、それぞ
れの特性と役割を大切にしながら連
携を深め、改善に向けた意図的な取
り組みを進める
中で、庄原市全
体の教育力の向
上を図ることが
必要です。

※自己肯定感
自分に対して前向きな
態度や感情のこと



グループ作成した英文の確認をしているところ